

秋の星空

寒い季節になりますが、一年で最も夜の時間が長く、星々の美しい季節になりました。
アンドロメダ座やペガサス座が天空に翼を広げ気持ち良さそうに飛んでいます。また、東の空には木星がギラギラと輝き、誰のでも簡単に木星を見つけることができます。

――＜11月の星空カレンダー＞――

7日(日) 土星が衝(おひつじ座)

8日(月) ●新月

16日(火) ●上弦の月

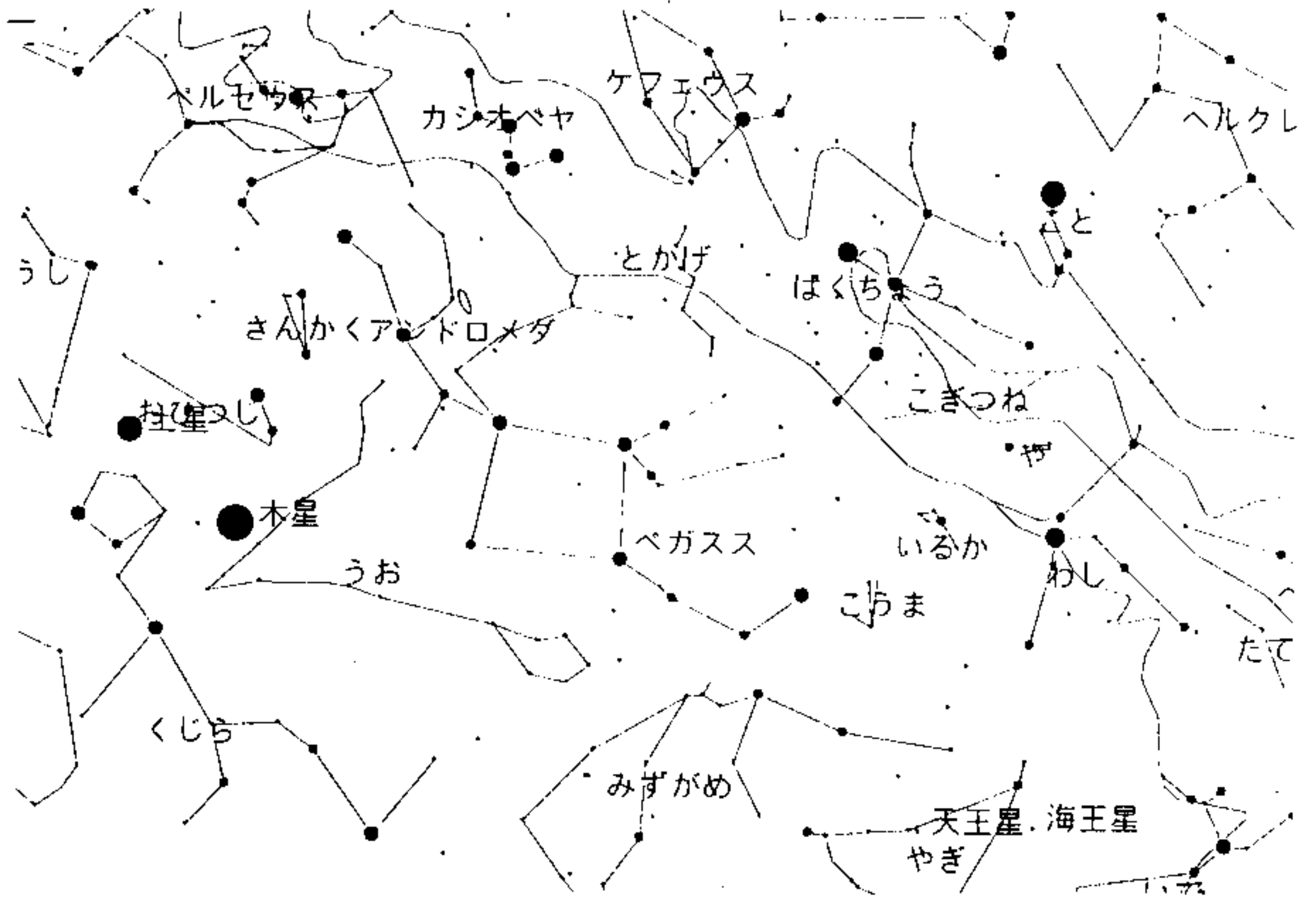
早朝、水星の日面通過

18日(木) しし座流星群極大

23日(火) ○満月

30日(火) ●下弦の月

右の星図は、11月中旬
夜9時ごろ、南の方向を中
心に見た星空です。
東天に明るく輝く星が木星
そして、そのすぐ東側にや
や明るい星が土星です。



【金星】明け方の空に、西方最大離角になったばかりの明けの明星が4、5等星で輝きます。

朝、太陽が出て青空の中に見えます。

【木星】うお座に移動した木星は、22時頃南中し、明け方ころ西の地平線に沈みます。一晩中観測できます。ガリレオ衛星を見て下さい。

【土星】木星の左に見える土星はおひつじ座をゆっくり移動しています。望遠鏡を使用すると、美しい環を一晩中見ることができます。

【水星】太陽面の通過が16日早朝に起こります。日の出と同時に起こりますが、望遠鏡や双眼鏡で見ると危険です。直接見ない事！

しし座流星群を見よう！

11月17日深夜～18日未明

しし座流星群は33年の周期で起きる天文現象ですが、今から200年前のしし座流星群では、1時間に100万個の流れ星が観測され南アメリカの人々を驚かせました。また、1966年アメリカで流星雨が観測されています。しし座流星群の放射点(流れ星が出てくる場所)は18日の午前2時に東の空、高度は40度位になりますので、東天が暗く見晴らしのいい場所で観測してください。ところで昨年、日本では「流星雨になるかもしれない」というニュースが流れ、多くの人が郊外に出かけました。深夜、早朝思わぬ交通渋滞にあった人も多くいるのではないのでしょうか？

――＜昨年の反省：チョット一言＞――

●人気のある観測場所では、ゴミが散乱しました。●深夜の行動で、付近の住民に騒音の迷惑がかりました。●遠方に出かけ徹夜で観測し、睡眠不足のまま運転して交通事故が目立ちました。●橋の欄干などに座って、誤って川に落ちた事故も起こりました。●駐車場で寝袋に入って観測中、移動してきた自動車に引かれてしまった。などのトラブルがありましたのでお気お付け下さい。

※流星が見える時間帯が深夜のため、児童センターの天体観望会は行いませんが、

前もって質問のある方はお訪ね下さい。